

# やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	20 / 1975 / 54-55
タイトル	野内川付近の蛾
著者名	川村貞子

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

# 野内川付近の蛾

1年 川村 貞子

野内川調査は、去年から始められていたが、蛾の調査は今年から始められたものである。それらを次に記録することにする。今年、第1回8月5、6日、第2回9月15、16日の2回調査が行なわれた。順を追って書いていく。

## 第1回調査

期間  
調査人員

8月5、6の2日間

調査地

石天、梅内

調査方法及び使用器具

権ハギ天  
樹液、燈火

結果

おにべにしたば

やが科・したば亜科

くるますずめ

すずめが科・ほうじ1exく8ex亜科

ほとんどが樹液に集まった。

第2回調査

期間  
調査人員  
調査地  
調査方法及び使用器具

9月15、16の2日間

川村(洋)、川村(節)

榊ハギ沢、平沢

榊ハギ沢、樹液

平沢 燈火

ネットによる成虫採集のみ

結果

きまだらおおなみしゃく	しゃくが科・なみしゃく亜科	1♂
びろうとなみしゃく	しゃくが科・なみしゃく亜科	1ex
しろつばめえだしゃく	しゃくが科・えだしゃく亜科	2♀
まえあかすかしのめいが	めいが科・のめいが亜科	1ex
べにしたば	やが科・したば亜科	2ex

平沢の燈火には、しろつばめえだしゃくしか集まらず、ほとんどが榊ハギ沢の樹液に集まったものである。それも鱗粉かとれたものばかりで、なかには翅もボロボロであるため同定が不可能となり表記しなかったものもある。つまり季節的側面において適当でなかったのである。また場所的側面も幾分関与したものと見られる。

以上が今年における我部の調査記録であるが、反省としては、調査不足があげられる。年間を通してのこまめな調査の必要性はいくらでも高い。来年もさらに続け、多くの記録を残したい。また今年も成虫の採集のみであったが、さらには生態にも手をのびたいものである。